

岡崎のカーボンニュートラルを考える講演会

～ゼロカーボンシティの実現に向けて森林資源の利活用を考える～

～講演会のご案内～

無料

◇日時：11月28日（日）

開場 12時30分

開演 13時00分

●講演会：13：10～14：55

- ・基調講演：名古屋大学大学院生命農学研究科教授 福島和彦様
- ・講演①：東洋大学情報連携学部情報連携学科教授 後藤尚弘様
- ・講演②：額田木の駅PJ事務局長 唐澤晋平様

●休憩：14：55～15：20

●パネルディスカッション：15：20～16：40

- ・コーディネータ：グリーンフロント研究所（株）代表 小串重治様
- ・パネラー：福島和彦様、後藤尚弘様、唐澤晋平様

●岡崎市長ご挨拶：16：40～16：55

岡崎市のカーボンニュートラルに対する取組について 中根康浩様

◇場所：せきれいホール 電話：0564-25-0511

◇参加費：無料

◇主催：額田バイオマス活用検討会 担当：加藤 090-6017-5332 Fax 0564-48-6806

URL：<https://biomass2021.jimdofree.com>

◇後援：岡崎市地球温暖化防止隊

◇申込み：不要

※感染予防対策（マスクの着用、ソーシャルディスタンス確保等）して参加下さい

講演の概要と講師紹介

●基調講演・テーマ：木づかいが拓く岡崎の未来

・講師：名古屋大学大学院生命農学研究科教授 福島和彦様

・時間：13:10～13:55

概要：2050年カーボンニュートラルの実現に向け、化石資源依存社会からの脱却が求められています。岡崎の豊富な森林資源を上手に使うことで、エネルギーや工業原料の自給自足を目指し、伐った後はちゃんと植林して美しい森を後世に残していくことが求められています。この森の循環（植える、育てる、収穫する、上手に使う）をとおして、岡崎の持続的な経済発展と二酸化炭素排出量削減の両立が達成できます。また、元気な森を維持していくことは、水源のかん養や土砂災害の防止にもつながります。

●講演①・テーマ：脱炭素時代におけるバイオマスの評価方法

・講師：東洋大学情報連携学部情報連携学科教授 後藤尚弘様

・時間：13:55～14:25

概要：日本国政府は2050年二酸化炭素実質排出量ゼロ、つまり脱炭素を目指すことを表明しました。様々な部門で脱炭素化の取り組みが始まりつつありますが、そのような取り組みを正しく評価する必要がありますが、そのルールは複雑です。本講演では脱炭素化事業を評価するルールを解説するとともに、脱炭素化の重要な事業の一つであるバイオマス利活用を評価する手法を解説します。

- 講演②・・・テーマ:額田木の駅PJの現状と今後
 - ・講師:額田木の駅PJ事務局長 唐澤晋平様
 - ・時間:14:25～14:55

岡崎市額田地域で2015年より行われている額田木の駅プロジェクトの取り組みを紹介します。間伐材を地域通貨で買い取ることで森林整備の促進と地域経済の活性化を目指しています。

- 休憩 ・時間:14:55～15:20
 - ※ 講演会アンケート回収及び質問表の回収を行います
 - 質問については回答を講演者から頂き後日回答します
 - またパネルディスカッションで取り上げ可能な質問については、時間の関係上コーディネータ小串様一任とさせていただきます。

●パネルディスカッション

- ・ テー マ:ゼロカーボンシティの実現に向けて森林資源の利活用を考える
- ・ 時 間:15:20～16:40
- ・コーディネータ:グリーンフロント研究所(株) 代表 小串重治様
- ・ パネ ラ ー :
 - 名古屋大学大学院生命農学研究科教授 福島和彦様
 - 東洋大学情報連携学部情報連携学科教授 後藤尚弘様
 - 額田木の駅PJ事務局長 唐澤晋平様

メモ

- 市長ご挨拶 岡崎市長 中根康浩様
- 時間:16:40～16:55

中根市長様にご挨拶及び講演会の感想そして、カーボンニュートラル実現に向けた岡崎市の現在の取組についてのご説明があります

- 閉会 : 17:00